



令和7年度

# 常滑市 広島平和学習派遣事業 報告書



# 目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

令和7年度 広島平和学習派遣事業・・・・・・2

参加児童報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・5



## はじめに

今年度は、戦後 80 年という歴史的な節目の年でした。そのような中、本市の小学 6 年生 19 名が広島平和学習派遣事業に参加し、その学びの足跡をそれぞれが報告書にまとめました。

参加した 19 名の児童は、広島で、原爆ドームや平和記念資料館に遺された数々の資料、そして語り部の方の切なる願いに触れました。目を背けたくなるような悲しい歴史の真実と向き合うことは、決して容易なことではなかったと思います。しかし、勇気をもって過去を正視し、「命の尊さ」と「平和への切実な願い」を、自分自身の課題として真剣に受け止めていました。

この報告書に綴られた一人ひとりの言葉は、素直な心の声であり、未来を照らす希望の光そのものです。一人ひとりの感じ方や表現は違っても、平和を希求する強い想いは、皆同じであることを再確認できるはずです。平和とは、遠い場所で、誰かがつくるものではありません。広島で学んだことを土台とし、身近な人に優しく接することや、互いの違いを認め合うこと。そうした日常の小さな一歩こそが、争いのない平和を築く確かな力となります。戦後 80 年という年にバトンを託された参加者 19 名が、平和な未来のつくり手として一歩ずつ歩いていくことを願っています。

(常滑市教育委員会)

# 令和7年度 常滑市広島平和学習派遣事業

## 1 目的

広島市を訪問し、原爆投下の様子やその後の生活について知識を深め、原子爆弾や戦争が尊い命を奪う非人道的な行為であることを理解する。

世界では戦争や無差別テロなどが、いまだ無くならない現状にある。自他の生命を大切にする「平和都市 常滑」の未来の担い手として平和を愛する心を育てる。

## 2 内容

### (1) 実施日

11月22日(土)～23日(祝・日) 1泊2日

### (2) 派遣先

広島県 広島市

- ・平和記念公園（原爆ドーム、相生橋、原爆供養塔、記念碑、慰霊碑、平和の時計塔、平和の灯、平和の鐘等）
- ・平和記念資料館
- ・広島市立袋町小学校平和資料館
- ・広島城周辺遺構

### (3) 派遣児童（19名）

学校名	児童名
三和小学校	森本 優羽 芳山 未空
大野小学校	竹内 悠稀
鬼崎北小学校	小倉 咲花 水野 友継
鬼崎南小学校	伊藤 蒔 安江香依里 森田 将宗
常滑西小学校	谷川 ねね 劉 実咲希
常滑東小学校	北原 美弥 山田 杏 渡邊 由夏 中村真之助
西浦北小学校	古川 登間 松田 健志
西浦南小学校	間宮 陸
小鈴谷小学校	大蔵 綾乃 宮原 結真

### (4) 引率者（5名）

- ・常滑西小学校 校長 岩見 和貴
- ・三和小学校 校務主任 吉川 晴教
- ・常滑東小学校 養護教諭 早川 貴子
- ・学校教育課 指導主事 中井 明子
- ・学校教育課 主事 庄子 彩花

### 3 日 程

<第1日> 11月22日(土)

7:00	参加児童集合 出発式	<p>【出発式】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 岩見校長の話</li> <li>2 早川先生の話</li> <li>3 教育委員会の話</li> <li>4 代表児童挨拶</li> <li>5 集合写真撮影</li> </ol>
7:20	バス乗車出発	
8:30	名古屋駅着	
9:23	名古屋駅発のぞみ113号	
11:36	広島駅着 (徒歩)	
12:00	昼食	<p>広島ガーデンパレスにて昼食。</p> 
13:09	広島駅発・乗車 (路面電車)	
13:25	原爆ドーム駅着・降車 (徒歩)	
13:30	宿泊旅館着 (徒歩)	<p>宿泊旅館「広島の新 相生」へ大きな荷物を預ける。</p>
13:40	慰霊碑めぐり	<p>ボランティアガイドの案内で平和記念公園内を散策。 (原爆ドーム、相生川、相生橋、平和の時計塔、原爆供養塔、平和の鐘、平和の灯、記念碑、慰霊碑等)</p>
14:30	平和記念資料館の見学	<p>グループごとに自由見学。</p>
16:00 ～17:00	被爆体験講話	<p>被爆体験者 宇佐美節子さんのお話を聞く。</p>
17:15	お土産タイム	<p>おりづるタワー1階みやげもの店で お土産を買う。</p> 
18:00	宿泊旅館着 夕食・振り返り・入浴	<p>夕食会場で、一人ずつ、1日の振り返りを発表する。</p>
22:00	就寝	

<第2日>

11月23日(祝・日)

時刻	行動	内容
6:30	起床・準備	
7:00	朝食	
8:50	旅館発(バス)	
9:00	袋町小学校平和資料館着	原爆ドームをバックに集合写真を撮影する。
9:45	集合・出発	説明VTRを見た後、自由見学。 
10:00	広島城着	
10:05 ~10:50	広島城と周辺遺構を見学	ボランティアガイドによる案内で見学する。 
10:50 ~11:45	班で散策	
12:00	広島城発(バス)	
12:15	昼食会場着・昼食	お好み焼き広場にて昼食。 
12:50	昼食終了 (徒歩)	
13:00	広島駅着	
13:05 ~13:45	お土産タイム	駅構内でお土産を買う  
14:18	広島駅発のぞみ32号	
16:34	名古屋駅着 バスまで移動	
16:50	バス乗車・出発	
17:45	バス市役所着	
18:00	解散式	<b>【解散式】</b>
18:30	解散	1 代表児童挨拶 2 岩見校長の話 3 吉川先生の話 4 2日間の振り返り 一人ずつ振り返りを発表する 5 早川先生の話 6 教育委員会の話

# 参加児童報告書



## 平和を繋ぐ

三和小学校 森本 優羽

### 事前に調べたこと

- 原爆の核物質はゴルフボールほどの大きさだということ
- 当たった人は即死だということ
- 原爆を受けた人が水を飲んだら亡くなってしまうこと
- 黒い雨が降ったこと

### もっと知りたいと思ったこと

- 原爆を受けた人はなぜ水を飲んだら亡くなってしまうのか
- 黒い雨とは何なのか
- 原爆は体にどのような影響を起すのか

### 壁の文字

大切な人を探したり自分の場所を伝えたりしようとするメッセージを見て、当時の人たちの必死な思いが伝わって来るような気がしました。壁の字を見てこのときその人たちの中には、私より年の小さな人もいて、1人でどんなに心細かったのだろう、私だったら耐えられないなと思いました。



### 資料館

自分と同じくらいの年の人が戦争の道具を作るための労働力として扱われていたことを知り、胸が締め付けられました。あんなに固くて丈夫な自転車が、原爆で溶けたり変形したりしている写真はとても印象的でした。どの写真も忘れられないし忘れたくないです。



### 宇佐美さんのお話

宇佐美さんのお話を聞いて、私が思っていたよりも被爆者の方々は苦しみが大きく心に深く傷を負ってしまっていたことを知りました。中でも爆心地から離れた場所でも大火傷を負い、長い時間苦しんだ人もいることに衝撃を受けました。これを聞いて私は周りの人にこのことを伝えて戦争の恐ろしさを知ってもらいたいと思いました。

### 原爆ドーム

私が想像していたよりも被害が大きかったです。当時のレンガとセメントの建物は丈夫だと思っていたので、それさえも原爆が全て壊してしまったことを知って原爆の被害の大きさを改めて思い知りました。歴史をその場で感じられたことでより学びを深められました。

### 平和学習を終えて

この2日間で最も印象深かったのは、戦争している当時に私と同じ年ぐらいの人たちが戦争の道具を作るための労働力にされていたことです。私だったら国のためと言われてもそんな労働なんてしたくないしできないけれど、その時代では、それが当たり前だったことに驚きました。実際に広島に行ってみて原爆ドームや資料館をみて今の時代からは想像できないほど悲惨でボロボロなものがたくさんありました。それを見て今の平和が当たり前ではないんだなと感じました。私はこれから広島であったことを忘れないで今度は自分がそのことを周りに伝えたいなと思いました。平和学習に参加させていただきありがとうございました。

## 平和について考えたこと

三和小学校 芳山 未空

### 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

事前に、建物疎開で亡くなった人やその家族のこと、千羽鶴を折って、白血病で亡くなった佐々木禎子さんのことを調べました。原爆や建物疎開で亡くなった人がどれくらいいるのか、被害の大きさ、実際に被爆した方のお話を直接聞いてみたくになりました。



相生橋を中心にB29から原子爆弾が落とされました。地元の人はそれをピカドンと呼んだそうです。地面の温度は3000

度から4000度で、火の玉は5000度にもなったそうです。被爆した人は水を求めて、川に飛び込み多くの方が亡くなりました。近くにある平和の灯は核兵器が0になるまで消さないそうです。広島の人たちの平和を強く願う気持ちが現れていると思います。慰霊碑には「安らかに眠ってください。二度と過ちは起こさせぬから」と書いてありましたが、誰が過ちを起こしたかは書かれていませんでした。



事前学習で知ってはいましたが実際に自分の目で見ると、原爆の怖さを強く感じました。石化したお弁当箱や、3歳の子

が遊んでいた三輪車などが展示してありました。特に印象深いのは、亡くなる前に撮られた被爆者の写真です。目が片方見えなくなっていたり、あごにはん点が見えていたりする人々の、何かを訴えかけるような目が心に残りました。実際に被爆した人の絵も現実味があって、忘れられません。原爆で亡くなった人の骸骨があたり一面に積んである写真も原子爆弾の威力の強さが分かりました。

被爆者の宇佐美さんは、一言一言丁寧に、少しだけ泣きそうな声で原爆が起きたときの状況や、被害の大きさ、残された家族の悲しみを伝えてくれました。それを聞いている私も悲しい気持ちになるのに、それを体験した人、その体験をみんなに伝えてくれている人は、どんなに辛い思いで話しているんだろうと思うと、心の被害はずっと残っているんだなと思いました。

宇佐美さんは、「核兵器を発明したのは、人間だから、核兵器のない平和な未来も人間がくれる」と言っていました。

また、戦争中は、食べ物がなく、イナゴやうさぎの肉を食べていたそうです。「あのときは何を食べてもおいしかった」と言っていました。ご飯がお腹いっぱい食べられることは本当に幸せだと思いました。



袋町小学校平和資料館の黒板には、原爆で行方不明になった人をたずねる伝言が書かれていました。その文字は、行方

不明になった人がいない不安や悲しみが想像できて、人々のあの日が映し出されていました。見ている私も悲しい気持ちになりました。また、「患者村上」と書かれた大きい石が印象的でした。そこに村上さんが横たわっていたそうです。その人は大火傷をしていて、そのまま亡くなったそうです。

### 平和学習を終えて

私は、2日間で原爆の被害の大きさや、戦争・原爆の恐ろしさ、残された家族の悲しみ、被害は建物だけではなく、心の被害もあって、ずっと先まで残ること、私達の普通の日々や、当たり前にご飯が幸せなんだなということに気づきました。一度やってしまったら、ずっと先まで建物にも心にも、大きな被害を残します。日本も世界ももう二度と戦争を起こしてはいけない、原爆を落としてはいけないと思いました。このような貴重な経験をさせてもらって、いろんなことを学べて本当に良かったです。

# なぜ戦争は起きるのか

大野小学校 竹内 悠稀

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

なぜ戦争は起きるのか、なぜ戦争は終わらないのか、なぜ政府は戦争を止められないのか、なぜ戦争は始まってしまったのか？

## 原爆ドームについて

元は広島県産業奨励館でした。1945年午前8時15分に原爆が落とされ約14万人の命が無差別に奪われてしまいました。

なぜ人類は原爆を生み出してしまったのだらうと思います。原爆が開発されなければ広島はあんなことにならないと思ったからです。



## 核兵器について

核兵器には核物質があり、それがぶつかり合うと爆発が起こります。広島で爆発した核物質は、ゴルフボールたったの1つ分です。これにより広島は崩壊してしまいました。ゴルフボールたったの1つ分だけでひとつの町が、滅んでしまうことを知り二度と同じような過ちを起こしたくないと思いました。



## 平和の子の像について

平和記念公園には平和の子の像(原爆の子の像)があります。モデルは、佐々木禎子さんです。禎子さんは、2歳で原爆に遭い、小学6年生のときに原爆病になってしまいます。友達が、千羽鶴を持ってきてくれて、千羽鶴を折ると願いを叶えてくれると教えてくれました。禎子さんは、必死に千羽鶴を折り続けましたが、千羽まであと200羽のところまで息を引き取りました。友達は禎子さんのお墓参りに行こうと思いましたがお墓が遠い山にあり子供だけでは行けません。だから、慰霊碑を立てようと思い、募金をして集まったお金で今の平和の子の像が、1958年5月5日に建てられました。平和の子の像に私達は見守られています。禎子さんみたいに短い一生で終わる子を減らしていきたいと思いました。

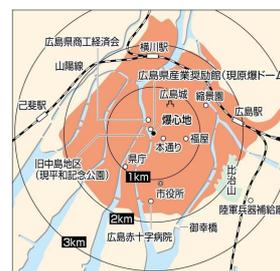


## なぜ広島に原爆が落とされたか

広島に原爆が投下された理由は、戦争を早期に終結させるため、軍事施設や工場が集まり、かつ大きな空襲被害を受けていなかった広島が原爆の威力を効果的に測定するのに適していたためです。

また都市の規模や爆風で効果的に損害を与えることができるなどの条件、連合国軍の捕虜収容所がないと思われていたなどの理由から、第1目標になりました。それにより無差別に多くの人々の命が奪われました。

私はこのことが許せません。ただの実験であったことや、無関係な人を巻き込んだことが許せないからです。二度とこのようなことが起こらないということを信じています。



## 平和学習を終えて

平和についてもっと考え、これからの生活も大切にしていきたいと思いました。被爆者の心に深い傷が入りたくさん命が失われています。もう本当に二度と戦争が起こらず核兵器がなくなるそんな世の中が来ることを願います。平和学習に参加し、2日間たくさん平和について考えることができました。

こんなに素晴らしい時間を作っていただきありがとうございました。

## 広島で学んだこと

鬼崎北小学校 小倉 咲花

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

- ・原爆は1945年8月6日の午前8時15分に落とされた。
- ・原爆による放射線、高熱、爆風、それらによる火災で多くの人々が亡くなってしまった。また、5万を超える建物が破壊され、日本軍の第59軍司令部も壊滅してしまっ

### 原爆ドーム

原爆ドームはレンガ造りの2階建てで、大正時代に作られたのでモダンな作りになっています。建物の中にはたくさんのがれきが残っていました。壊れた柱の一部を、原爆ドームの前にある川の近くに置き、ベンチのようなものにしていました。

### 平和記念資料館

平和記念資料館には三輪車や服、弁当箱、8時15分でもまった時計、石段に残る人影のある石、放射線の黒い雨、などの遺品や被爆にまつわる資料がたくさんありました。



### 被爆体験講話

被爆体験講話では、被爆者本人からお話を聞くことができ、その人の気持ちがよく伝わってきました。ご飯はお腹いっぱい食べられなかった、小学生は親と離れて畑仕事をしていたなどの当時のことについてもよく知れました。原子爆弾には放射線物質が入っており、そのせいで黒い雨が降ってしまったことなども分かりました。

### 袋町小学校平和資料館

袋町小学校は被災者の救護所として救護活動をしていました。また、家族や友達などへ壁などに伝言を書く場所でもありました。被爆により壊れた扉や窓、伝言などが展示されていました。



### 平和学習を終えて

平和学習では、原爆が落とされてからも、残留放射線を浴びてがんなどで亡くなってしまった人がいたり、建物が壊れ、その下敷きになった人がいたり、たった一発の原爆で広島がたくさんの被害を受けたりしたことなどを知りました。原爆の怖さがよく分かりました。また、広島で実験として原爆が落とされたときと知ったときはびっくりしたし、許せなかったです。

どうして黒い雨が降ってしまったのか、黒い雨は何なんだろう？と、思っていたので、気になっていることも分かって、たくさん学べました。原爆体験講話では、辛いのに頑張ってお話をしてくださって、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。私も大人になったら、お話をしてくださった人の思いを忘れずに他の人に伝えられたらいいなと思いました。平和学習ではたくさんのことが学べて、原爆の恐ろしさがよくわかったのもう二度と同じようなことは起こってほしくないと思いました。

## 広島平和学習で学んだこと

鬼崎北小学校 水野 友継

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

- ①原爆の温度は何度なのか？
- ②なぜ戦争と関係のない市民を巻き込んだのか？
- ③原爆はどれぐらいの量を積んでいたのか？
- ④広島焼きはおいしいのか？

- ①原爆の温度は何度なのか  
3000度から4000度ほどだったそうです。



- ②原爆はなぜ広島に落とされたのか

なぜ原子爆弾が広島に落とされたか  
というと、落とすのにちょうどよい場所  
だと、思われたからでした。

海が近くて、障害物があまりなく、ま  
た、北側には街の近くに山や森があり  
ます。原子爆弾の威力を実験するのに  
ちょうどよいと思ったそうです。

- ③どれくらい積まれていたか

B29という飛  
行機に原子爆弾  
を約50キロを  
積んで広島まで  
来ました。

しかし、その  
50キロのう  
ち、ゴルフボ  
ール1個分しか発動しなかったとい  
うことです。そんなに少ない量で広島を壊滅  
させる威力がありました。



- ④ 広島焼き

広島焼きはとてもおいしかったです。  
広島焼きは「アイアンマン」というお  
店で食べました。



平和学習を終えて

僕がこの平和学習で一番心に残ったことは「原子爆弾を50キロも積んだのにゴルフボール1個分しか発動しなかった」ということです。もしも、50キロ分が全部爆発したら、世界が終わります。

もう2度と戦争を起こさず、また核兵器を使わないでほしいと思いました。戦争の悲惨さをこの平和学習で学びました。学んだことを家族や友達に話したいと思います。

# 広島平和学習で学習したこと

鬼崎南小学校 伊藤 詩

## 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

原爆ドームは1915年にチェコ人建設家ヤン・レルツルによって設計されました。1945年8月6日、アメリカ軍のB29爆撃機によって投下された原子爆弾は、爆心地からわずか160m上空で爆発しました。周囲の建物が破滅的な被害を受ける中、奇跡的に外壁の一部が残りました。戦後多くの人々から保存か解体かの議論がありましたが被爆した少女梶山ヒロ子さんの日記が保存運動に火をつけ1966年に広島市議会で永久保存が決議されました。以降、5度の保存工事を経て建物の風化や破壊を防ぐために丁寧な保存が続けられ1996年ユネスコの世界文化遺産に登録されました。原爆投下後残った理由など知りたいと思いました。

## 1 平和の軸線



平和の軸線とは原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑、平和の灯、平和記念資料館が直線上に並んでいる、この軸線を平和の軸線といいます。

### 原爆ドーム

原爆ドームとは1945年8月6日に広島市に投下された原子爆弾によって破壊された、もともと広島県産業奨励館であった建物の残骸です。

### 原爆死没者慰霊碑

原爆死没者慰霊碑は原爆で亡くなった人々の霊を慰めるための石造りの慰霊碑です。

### 平和の灯

1945年原爆投下で失われた命への慰霊と核兵器の廃絶、恒久平和への願いを象徴しています。

### 平和資料館

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、恒久平和の実現に貢献するために、戦争や原爆に関わる資料を収集・展示する施設です。

## 2 平和資料館



資料館で原爆の当時の写真や絵、服などが展示されていました。テニスボール1個分の原子爆弾のせいで14万人～15万人死んでしまったそうです。その後黒い雨が降り、白血病で亡くなってしまった人がたくさんいました。黒い雨のせいで生存していた人も亡くなり合計約20万人が亡くなってしまいました。

資料館の中には黒い爪がありました。この黒い爪は高橋昭博さんの右手の人差し指に生え続けたものです。被爆時ガラス片が突き刺さった指からその後も黒ずんで変形した爪が伸び続けました。

被爆者に重度の火傷や内臓損傷があった場合、水分摂取が状態を悪化させる可能性があったため水を飲ませてはいけなかったようです。

## 3 袋町小学校平和資料館



袋町小学校は原子爆弾により木造校舎は全壊全焼し、鉄筋コンクリート3階建の西校舎は外形のみを残して焼失しました。袋町小学校は爆心地から460mです。爆心から500m以内にいた人は、ほぼ100%なくなるとされる距離にあったこの学校で、あの時、この地において奇跡的に生き残ったのは3人です。また袋町小学校平和資料館は広島に原爆が投下された際に被爆した校舎の一部を保存し当時惨状を伝える資料を展示する施設です。

## 4 広島城



広島城の歴代城主は毛利輝元(もうりてるもと)、福島正則(ふくしままさのり)、浅野長晟(あさのながあきら)、浅野光晟(あさのみつあきら)、浅野綱晟(あさのつなあきら)、浅野綱長(あさのつななが)、浅野吉長(あさのよしなが)、浅野宗恒(あさのみねつね)、浅野重晟(あさのしげあきら)、浅野齊賢(あさのなりかた)、浅野齊肅(あさのなりたか)、浅野慶熾(あさのよしてる)、浅野長訓(あさのながみち)、浅野長勲(あさのながこと)です。

## 平和学習を終えて

私は、広島平和学習を終えて、戦争の苦しさや残酷さを学びました。毎日美味しいご飯がお腹いっぱい食べられることに感謝をし、原子爆弾で広島が被害にあったことを忘れず1日1日を大切にしたいと思いました。日本は80年間戦争してないそうです。このまま90年100年200年と続いて次は世界が平和になってほしいです。原爆ドームは写真で見ると迫力があるなと思いました。資料館では絵などしかないと思っていただけで写真もあって戦争の悲惨さを予想よりも千倍感じることができました。他校の友達と仲良く慣れてとても楽しかったです！

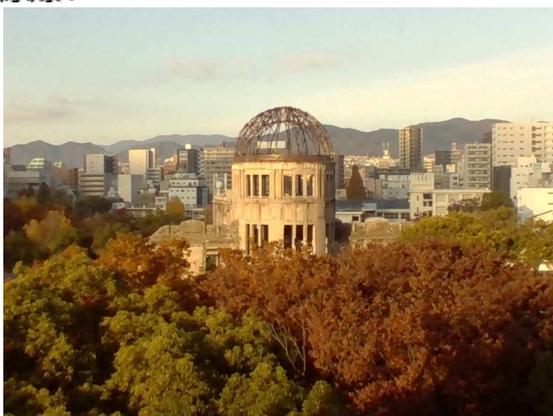
## 広島平和学習

鬼崎南小学校 安江香依里

### 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

この広島平和学習で実際に被爆された方のお話を聞き、私達がまだ分かりきっていない原爆の恐ろしさを聞いてあの日日本に何が起きたのか。今の知識より、詳しく知りたいです。

#### 原爆ドーム



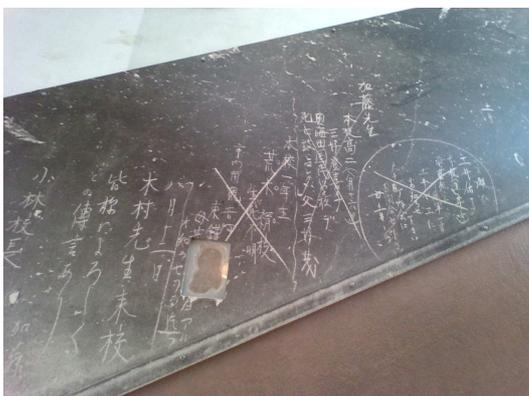
原爆ドームは1915年4月に建てられ、原爆が落ちる前の名前は【広島県物産陳列館】という名前でした。

広島県物産陳列館は主に広島のお土産を販売していました。

・なぜ原爆ドームは爆風で壊れなかった？

〈窓が多数空いていたことで、爆風が窓から吹き抜ける事ができ、建物の内部と外側が急激な圧力差が抑えられました〉

#### 袋町小学校



袋町小学校は1873年（明治6年）に創立され、原爆投下直後の救護活動の拠点として利用されました。

爆心地から460mの位置にあった袋町小学校は木造校舎はすべて倒壊、全焼し、唯一の鉄筋校舎は外部だけ残し焼失しました。

1999年に壁の塗装を剥がしたところ、被爆した人々の手書きの伝言が発見されました。そこには当時の被爆者達の思いが眠っていました。

#### 平和学習を終えて

私はこの2日間で平和について深く知ることができました。私は4年生の時に家族と広島を訪れたことがあり、原爆ドームや資料館に行きました。その時もとても戦争について学びましたが、今回の広島平和学習で実際に被爆された方の口から戦争、原爆について聞き、「原爆ってこんなに恐ろしいものだったんだ」と改めて思いました。私が想像していたものとは比べ物にならないくらい戦争というものは本当に恐ろしいことで、私達が今生きているこの平和な世界は当たり前でないことがわかりました。この2日間で学んだ戦争の恐ろしさ、そして平和が当たり前じゃない、ということをとくさんの人に伝えていきたいです。

# 広島平和学習

鬼崎南小学校 森田 将宗

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

原爆ドームの地下にはまだ昔の広島がのこっていて昔の広島はどのような姿をしているのか知りたくなったし、原子爆弾はゴルフボール1個分しか核分裂反応していないと聞き、もし全ての元素が核分裂したらどうなるのだろうかとおもいました。

## 原爆ドーム

もともとは広島県物産陳列館という名称でした。博物館や美術館、講演会としても使われていたそうです。



原爆ドームの近くにある川にはたくさんの被爆者が水を求めて集まり川の水を飲んだ人は心臓が停止し、沢山の人がなくなったそうです。水を飲むだけで心臓が停止した理由は被爆して大怪我をした人は心も体も限界の状態、その状態で水を飲むと安心して緊張が解けてしまうからです。

原爆ドームの地下には原子爆弾が落ちる前の街が埋まっています。まだ掘り起こす作業が続いています。

## 原子爆弾

広島に投下された原子爆弾（リトル・ボーイ）は広島に投下され爆発するときすべての火薬（元素など）の中からゴルフボール1個分しか爆発しなかったそうです。



長崎に投下された原子爆弾（ファットマン）は広島に投下された原子爆弾より被害が1.3倍被害が大きかったしファットマンの核分裂量（火薬の爆発量）のほうがリトルボーイより多く1kg分も核分裂が起きたそうです。

原子爆弾は他にも東京や京都、横浜市、小倉市、新潟市にも落とされる可能性があります。新潟市はまだ空襲を受けていなく最有力候補に挙げられていたそうです。因みに東京に投下されるはずだった原子爆弾の名前はスカレットです。

## 袋町小学校平和資料館と広島焼き

袋町小学校は、原子爆弾が落ちたとき木造校舎は全壊、全焼し鉄筋コンクリートでできた3階建ての西校舎は外形のみ残して焼失しました。その後、一時的な避難場所になり沢山の人が袋町小学校に来て黒板や壁などに伝言などを書いていました。今の袋町小学校は原子爆弾によって破れた太鼓やたくさんの方の伝言が書いてある壁、大破した扉などが展示されていて戦争や核の恐ろしさや危険さを伝える場所になっています。



広島県のお好み焼き広島焼き（広島風お好み焼き）は、薄く焼いた生地の上にキャベツや豚肉、焼きそば、卵などを層状に重ねて焼く重ね焼きが特徴です。生地と具材を混ぜて焼く大阪などの関西風とは異なり、沢山の野菜を蒸し焼きにするためかなりヘルシーだそうです。

## 広島城ともみじ饅頭

別名鯉城といい1589年に毛利輝元が建築を開始し、1591年に入城しました。



城主は毛利輝元、福島正則、浅野氏に継いで浅野長晟が入城し明治維新まで12代にわたり城主を務めました。

大きさは、城域は約90万㎡高さは約40mもあり城の大きさランキングで10位です。

原子爆弾の影響で石堀以外の建物が全焼し、石堀は原子爆弾の熱風などによって赤色に変色しました。

もみじ饅頭は広島を代表する紅葉型のお菓子（饅頭）です。カステラ生地にあんこを入れるのが主流ですがチーズやチョコなどを入れたり揚げたり冷やしたりなどのアレンジがあります。にしき堂の生紅葉や紅葉堂の揚げ紅葉などが人気で、明治時代から続く歴史ある銘菓です。



## 平和学習を終えて

実際に広島に行く前はただ単に戦争を否定していたけれど、平和学習で色々学んだ後はなぜ戦争がいけないのか戦争ではどんな残酷なことがあったのか、ということを考えるようになってもっと自分も世界の人、もっと現実を知らなければいけないと思いました。特に日本人としてあの悲劇は別の世界ではなく人類が起こした現実、過ちということを知らなければいけないと思いました。

これから過去のことを忘れずにできる限り沢山の人がこの現実を語り継いでいきたいです。

# 原子爆弾の恐ろしさ

常滑西小学校 谷川 ねね

## 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

- 原子爆弾・・・ウランやプルトニウムなどの原子核分裂を利用した核兵器
- 原子爆弾の仕組み・・・ウランやプルトニウムのような物質に中性子をぶつけ、核分裂を起こしその連鎖反応で発生する巨大なエネルギーを利用するもの
- 1945年、8月6日、午前8時15分に広島に原子爆弾を落とされた
- 1945年、8月9日、午前11時2分に長崎に原子爆弾を落とされた

## なぜ広島だったのか

- 当時、広島には軍人がたくさんいたから。
- 広島の地形が平らで近くに海があったりして、都合が良かったから。



## 原子爆弾

- たった一発で13から15万人が亡くなり、黒い雨にあたったりして20万人に増えた。
- 3000から4000度という温度でとても熱く、人や物が焼けてしまった。
- 大火傷で近くに川があったためみんなが川に飛び込み大量の死体が浮かんた。



## 原爆の子の像

「これは僕らの叫びです。これは私達の祈りです。世界に平和をきずくための」平和への願いが込められたメッセージがある。

この像は原爆でなくなった佐々木禎子さんをモデルとして作られた。



## 平和記念公園の火

昭和39年、8月1日に火がつけられてからずっと燃え続けている。この火は、「核兵器が世界から姿を消す日まで燃やし続けよう」とされている。



## 平和学習を終えて

実際に原爆ドームに行ってみると想像していたよりも被害が大きくて、ガイドさんのお話なども聞くと色々詳しく知ることができました。

平和記念資料館では、実際の三輪車や服、ズボンなどが展示してあり原子爆弾の恐ろしさがよく分かりました。

被爆者の方は、みんなに自分の体験した話をするということにも勇気がいるのに話をしてくださって、ありがたいと思いました。お話を聞いているときに想像しただけでも苦しかったので実際はもっと苦しかったと思いました。とてもわかりやすくお話をされていて、原子爆弾の被害の大きさや恐ろしさがよく分かりました。

今の生活が当たり前に行くことではないと分かったので、これからの生活は被爆者の方のお話や今回の広島平和学習で学んだことを忘れず、今の生活と自分の命を大切に生きていきたいと思いました。

# 平和学習を経て

常滑西小学校 劉 実咲希

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

## 原子爆弾の仕組み

- 原子爆弾は核分裂が起き他の原子核に衝突し、連鎖反応が起こることにより巨大なエネルギーが生まれる。
- 広島に落とされたのはガンバレ型、臨界量に満たない2つのウラン塊を、火薬の爆発力で合体させて超臨界状態にする。

## 被爆してもなお家族を探し回った人達の伝言

これは袋町小学校平和資料館にあったものです。【写真】

私は被爆してもなお家族を探し回った方々がとても強い人たちだと思いました。なぜなら、もし私がこの時代に生きて被爆し、動けるくらいだったとしても家族を探し回れるほどの気力がなく、諦めてしまう気がするからです。なのでこの方達を私は尊敬します。

## 【写真】



## 人影の石（爆心地から260m）



住友銀行広島支店の入口階段で腰掛けていた人が、その場で被爆し原爆の強烈な熱線により腰掛けていた部分が影のように黒く残っています。

## 広島城について

広島城は毛利輝元が1599年頃に建てたお城です。いまの広島城は1945年に原子爆弾により倒壊した後、1958年に鉄筋コンクリート造で外観復元されています。

天守閣の周りには被爆樹木のクロガネモチ、マルバヤナギなどが生えています。

## 平和学習を終えて

この広島平和学習では広島への原子爆弾投下について、様々なことを学びました。原爆はとても残酷で悲惨なものでした。これを機に、私はこれからは、今の生活に感謝し、この日常を続けていけるよう努力していきたいなと思いました。また、戦争や原子爆弾投下という過ちを繰り返してはならないと強く思いました。

# 広島平和学習

常滑東小学校 北原 美弥

## 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

原爆を作る計画をする内容の映画を見ました。学校でインターネットで少し調べたり、名古屋から広島の新幹線の中で調べたりしました。調べてみると、原爆で物は、どうなってしまったのか、原爆の被害はどこまで広がったのか、被爆者の方は、実際に体験してどんなふうに思ったのか、当日の街はどんな形になってしまっていたのかと、知りたい事がどんどん出てきました。



原爆ドームは、広島物産陳列館という建物でした。爆心地から160mの位置にあります。

元々は左右対称でしたが、右側の方で爆発したので、右の側の方はひどく崩れてしまいました。原爆ドームの前の川は、当日原爆の被害で大火傷をした人が水を求めて飛び込み、多くの方が亡くなってしまいました。原爆ドームの周りには元々建物がたくさん立っていましたが、原爆の被害ですべて焼け崩れてしまいました。その家の破片や灰は、まだ平和記念公園の床の下に、埋まっています。広島に落とされた原子爆弾は、50キロ積まれていましたが、そのうちのゴルフボール1個分の爆弾しか爆発しなかったのに、広島は、一瞬にして変わってしまいました。



原爆の子の像のてっぺんには、折り鶴をもった佐々木禎子さんが立っています。禎子さんは、2歳で被爆し、小学6年生で白血病になりました。病院で折り鶴を折り続けると願いが叶うと信じて折り続けましたが、亡くなってしまいました。禎子さんのお墓は遠くにあったため、子どもだけでは行けません。そこで同級生たちは、募金をして大きな像を作ることに成功しました。原爆の子の像には、「これは、僕達の叫びです。これは、私達の祈りです。世界に私達の平和を」と書かれています。原爆の子の像の近くには多くの場所から集まった折り鶴が置かれています。



被爆後は、大きな火災が発生しました。原爆で発生した熱風などで発生し、その火災は火の海と呼ばれるほど大きな範囲で発生しました。その被害で多くの人々が焼死しました。その火災では、鉄が溶けてしまったり、形が大きく変化したりと大きな被害を及ぼしました。



袋町小学校の被爆した校舎の壁には言葉や名前がたくさん残っていました。この壁は、塗り替えられて、伝言は見えなくなりましたが、壁を剥がすと家族を探す伝言、自分が生きてると伝える伝言など、たくさんの伝言が書いてありました。その中でも伝言は、玄関近くの階段に多く集まったそうです。

## 平和学習を終えて

私は、毎日お水をたくさん飲めてご飯をお腹いっぱい食べられることが幸せなことだと思いました。原爆の被害で大火傷をした人は、水を飲むと安心して緊張がとけて、多くの方が亡くなったと聞きました。ゴルフボール1個分の容量の原爆によって街は一瞬にして変えられてしまいました。今回学んだことを忘れずに、友達、先生、親にも学んだことを伝えていきたいです。

# 広島平和学習

常滑東小学校 山田 杏

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

<事前に調べたこと>

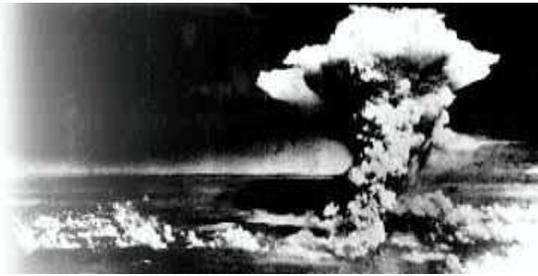
- 原子爆弾が落とされた日
- 原子爆弾の重さ
- 戦争で亡くなった人数

<もっと知りたいと思ったこと>

- 戦争中のモースル信号の意味
- 原子爆弾以外に使われた戦争道具

<広島市に投下された原子爆弾>

広島市に投下された原子爆弾（リトルボーイ）は地上約600メートル、長崎市に投下された原子爆弾（ファットマン）は地上約500メートル（資料によっては約503メートル）で爆発しました。



<佐々木禎子さんが生きた4675日>

禎子さんは2歳の時に被爆しました。運動の得意な元気な少女に成長しましたが、被爆から10年後に突然白血病であると診断され入院しました。千羽鶴がお見舞いに送られてきたことをきっかけに「生きたい」という願いを込めて折り鶴を折り始めます。



8か月の入院生活の末、家族が見守る中くなりました。

<家族などへの伝言>



戦時中に戦地から家族へ送られた手紙や、戦後に行方不明になった家族を探すために書かれた「伝言」など、歴史的資料として数多く残されていました。



平和学習を終えて

たった一つの原子爆弾によって20万人の超える命が奪われました。原子爆弾の黒い雨に当たってしまうと白血病などと辛い病気にかかってしまう事がよく分かりました。

お母さんが言っていた「幸せに美味しいご飯が食べて笑い会える時間は当たり前じゃないんだよ。」と教えてくれた通り、何でもかんでも当たり前にはしなくて強くなりました。

被爆者の方は「戦争兵器を作ったのは人間だ。だから平和な日本も作れる」と言っていました。私たち人間が幸せな日本を保っていかなければと思いました。

## 「あの日の広島」を忘れずに

常滑東小学校 渡邊 由夏

### 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

この広島平和学習に行く前事前に調べておいたことは「広島が原爆を落とされる標的になった理由」や「戦争をしている当時の日本の状況」などです。実際に図書館に行き本で調べました。

### 原爆ドーム

原爆ドームは、1945年8月6日の悲劇が起きたその瞬間の姿を、あえてそのまま残している世界遺産だとガイドさんから聞きました。元はとても大きい産業奨励館だったのに原爆が落とされただけで、ほんの一部しか残らなかったことに驚きました。

原爆ドームは私達に核兵器の破壊力がどんなものなのかを一瞬で感じさせました。

### 広島平和記念資料館

資料館では、犠牲者の遺品、当時の写真、再現された被爆直後の街の様子が表示されています。特に丸焦げの三輪車、皮膚が垂れ下がった人々の絵は当時思った以上にこんなにも酷かったことを改めて痛感しました。

この平和記念資料館の展示物からでも伝わる深い悲しみと苦しみは私達にどれだけ平和が当たり前のことじゃないことを深く考えさせるものでした。

### 被爆者、宇佐美さんのお話

宇佐美さんの講話は、研修の中で最も心に響く体験の一つでした。自分で書かれた絵を交えながらとても大切なことを話してくださいました。

絶対に当時のことを思い出すのは辛いはずなのに、言葉に出したくないはずなのに、私達に伝えてくれました。今度は私達がそのことを未来に繋げていきたいと思いました。



### 平和学習を終えて

今回の平和学習を通じて、教科書の中の「歴史」が、広島で実際にこの場所で生きていた人々の「現実」であったことを深く実感しました。

過去の悲劇を昔だからと言って「他人事」として見るのではなく「自分事」として見なくてはならないなと感じました。

# 広島平和学習

常滑東小学校 中村 真之助

## 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

まず私が事前に調べたことは、広島に落ちた原爆の開発にどんな人が携わってきたのかについてです。事前に調べてもっと知りたいと思ったことは、原爆が落ちたとき、広島の人々はどんな気持ちだったのか、または、被爆した人の家族や友人は何を思ったのだろうかということでした。



平和記念資料館に、展示されている学生服などは、すべて実在した人のものでした。その展示物の持ち主を説明する展示のところは、親が、子供を探して、服だけが見つかったというケースが多くやはり原爆の被害は、とてつもなく大きいものだったんだと思いました。

平和記念資料館に、展示されている学生服などは、すべて実在した人のものでした。その展示物の持ち主を説明する展示のところは、親が、子供を探して、服だけが見つかったというケースが多くやはり原爆の被害は、とてつもなく大きいものだったんだと思いました。



広島に原爆を受けた子供や大人たちはこのような顔になって顔の皮膚が

ただれ落ちてしまいます。しかもそんな原爆を受けた人は、1945年末時点での広島市推計で約22万人にもおよぶであろうとされています。



実際に原爆を受けた袋町小学校平和資料館では、大量の資料や、届けられた千羽鶴やメッセージがありました。原爆は悪いものですが、逆に原爆は人をここまで動かすのだなあと思いました。



広島に原爆が落ちたときの空の様子です。この一つの原爆で、広島がたくさん建物の文明、思い、そして命がなくなりました。しかも原爆が反応したのは、ゴルフボール1個分で、それが上空約600メートルで爆発しました。

やはり原爆を人が使ってはいけなかったと思います。

## 平和学習を終えて

今回の平和学習はとてもためになったと思います。私は原爆の実際の被害を集めた資料館や、実際に被爆した人の話や写真を見て、とても心苦しく思いました。

もしも私が、原爆で死んでいたら、「亡くなった人は可哀想だった」ということよりも、人々に事実を伝え、原爆をなくしてほしく願うと思いません。そう思う気持ちや勇気を大切にしたいと思います。

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

僕は平和学習に向けて事前に原子力爆弾について調べました。原子力爆弾の威力は、熱線、爆風、放射線の3つが破壊と被害をもたらします。具体的な威力は爆弾の種類によりますが、広島型の威力は推定TNT火薬約1.5万トンとされ、爆心地から2キロ圏内の建物はほとんど壊れました。



原爆ドームは鉄筋コンクリートで作られているのに原子力爆弾で殆どが壊れてしまいました。更に原子力爆弾は50キログラム

積んであるうちのゴルフボール1個分しか反応していないのに広島県が壊滅寸前まで追い詰められて更に原子力爆弾による原爆病によって沢山の人が死んでしまいました。原子力爆弾の実験場として使いやすい地形という理由で広島県に住んでいる人たちが無差別に殺されたことについてとても残酷な気持ちになりました。

被爆者の宇佐美さんに話を聞きました。建物を見るだけではわからない、被爆者の思いや当時の現場などを深く知ることができました。



宇佐美さんは一番好きだったお兄ちゃんを原子力爆弾で失っています。今このように美味しいご飯が食べられて美味しいお水が飲めて友達と遊べて家族がいつもそばにいてくれる日々がとても幸せなことに気付きました。こうして幸せな日々が送れていることが普通じゃないんだと思うととても心が締め付けられました。



平和記念資料館では被爆した現場の写真や絵などが展示されていました。皮膚が溶けて、とにかく水を求めて川に向かって歩いている姿が

残されていて、とても心が締め付けられたし、とても悲しくなりました。平和の灯に書かれていた「安らかに眠って下さい過ちは繰返ませぬから」の文。戦争を仕掛けた国も戦争を仕掛けられた国も得はしないからこの世から戦争を少しずついいから消していきたいです。



平和の灯に書かれている「安らかに眠って下さい過ちは繰返させぬから」から、日本も過ちは犯したかもしれないけど戦争で勝つのがほぼ

確定していたアメリカが一般人がたくさん住んでいる広島県に原子力爆弾を落としたのが一番の過ちだと僕は思いました。そもそも勝つのがほぼ確定している戦争でこんなにも強い兵器を使う必要があったのかと僕は思いました。ですが日本も負けがほぼ確定している戦争を続けようとしたところに過ちはあると思います。

平和学習を終えて

平和学習を終えて原子力爆弾や宇佐美さんの話や広島平和記念資料館などを通して、今このように美味しいご飯が食べられて美味しいお水が飲めて友達と遊べて家族がいつもそばにいてくれる日々がとても幸せなことに気付きました。ですが世界では多くの国で核兵器を保有しています。これからは、「日本も核兵器を保有して、他の国にアピールするべきだ」という主張が出てくると思います。10年後、20年後の未来では、僕たちが20歳、30歳となって社会の中心となって働いていると思います。その時に、自分の意見をしっかりと持ち、多くの人と話し合っていくことが大切です。勇気を出して声をあげられるかあげられないかで日本は変わってきます。僕は勇気を出して声をあげられるように頑張りたいと思います。

## 被爆者の思い

西浦北小学校 松田健志

### 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

僕は被爆二世の朽木祥さんが書いた本を読んで、広島でたくさんの人が被爆したり苦しみながら死んでいったりしたことを知りました。また太平洋戦争がどうして起こったのか、戦争がどのように進んでいったのか、日本が最後に負けてしまうところまで調べました。その後図書館で、広島原爆のことを調べ、また平和記念資料館を作った長岡省吾さんの本も読みました。色々調べてみて、広島の人たちは、なぜそんなに辛い思いなのに生きていくことができたのか。大切な人が死んでしまった中でどんな思いで頑張ってきたかを、現地で聞きたいと思いました。

原爆ドームは被爆する前は、広島物産陳列館という名前で、もみじ饅頭や広島のお土産が並んでいたそうです。



近くにある川は元安川という名前です。原爆が落ちて爆発したときに川に飛び込んでいた人が死んでしまっている写真が平和記念資料館にありました。

平和資料記念館には、その人が何を落としたのかというものが残されています。そして、この写真はお弁当箱と水筒です。



持ち主のお母さんが本人を探しているときに、その子の死体のバッグにあったものです。米・麦・大豆の混合ご飯が入ってたと書いてありました。

被爆者の宇佐美さんの話はとても勉強になりました。最も重要なのは、原爆も含めて戦争はとてよくないということ



です。以前からわかっていましたが、宇佐美さんの話を聞いて、こんなに悲惨なことを何のためにするのか怒りが湧いてきました。宇佐美さんはガラスの破片が頭に刺さっただけで被爆の他にそれほど重い病気や怪我はしてないそうです。宇佐美さんが描いたお兄さんがやけどをして帰ってきた絵を見て、戦争が良くないということがすぐわかりました。最後に平和の付箋をくれました。

この写真は袋町小学校の伝言板です。原爆で炭焼したところにチョークで書いたのがこの写真です。そこには探している子の名前などが書いてありました。



他にも横たわっている患者さんの名前が書いてある石や、探したけど見つからない娘へのメッセージや袋町小学校にいろんな伝言が書かれていました。なぜ袋町小学校にこんなに伝言が書かれているのかというと、ここが避難場所だったからです。

### 平和学習を終えて

この広島原爆投下は太平洋戦争の末期に起きたことで、いろいろな国の、それまでの歴史のつながりを学ぶことができました。宇佐美さんの話を聞いて、兵隊さんに食料をあげるために、イナゴや飼っていたウサギや豚も食べていけない、辛い暮らしをしていたことや、グラウンドにも田んぼを作って、なんとか食料を確保していたことを知りました。あの1945年8月6日の原爆で、たくさんの罪のない人々の命が奪われたことを忘れてはいけません。たくさんの命を犠牲にすることで残った日本に今生きているぼくたちは、どんなに辛いことがあっても、どんなに悲しいことがあっても、宇佐美さんのように頑張って生きていかなければならないと感じました。

# この青い空がいつまでも続くことを願って

西浦南小学校 間宮 陸

事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

## 1. 絵本「ひろしまのピカ」を読んだ感想

僕は、ひろしまのピカを読んで、すごく悲しいお話だなと思いました。なんで戦争が起こるんだろう？みんな仲良く暮らせばいいのと思いました。

## 2. なぜ戦争が起こるの？（調べ学習）

①「この土地は自分たちのものだ」という主張と、相手の「いや、自分たちの先祖代々のものである」という主張が衝突することから。

②「この資源は自分たち国民の生活のために不可欠だ」とう国と、別の国が「こちらも同様に必要としている」という主張が衝突することから。

③「自分たちの信じている宗教や考え方が正しい」という思いが強すぎて、異なる考え方や習慣を持つ人々を認められなくなって衝突することから。

★僕は「みんなが仲良く暮らす」ためには、世界の人々が障害・国・年齢、関係なしにお互いのいいところ、違いを尊重し合い、共に生きていくこと（共生社会の実現）が大切だと思います。

## 3. 広島原爆について（調べ学習）

### ①人的被害

- ・死者数:1945年12月末までに、約14万人（±1万人）もの人々が亡くなったと推定されています。これは当時の広島市の人口の半数近くにあたります。爆心地近くの人々は、瞬時に命を落としました。
- ・負傷者数:正確な数は不明ですが、数え切れないほど多くの人々が重傷を負い、その多くが適切な治療を受けられないまま亡くなりました。
- ・放射線障害（後障害）:原爆の最大の恐怖の一つは放射線による影響です。
- ・急性障害:被爆直後から脱毛、下痢、嘔吐、高熱、歯茎からの出血などの症状が現れ多くの方が苦しみました。
- ・晩発性・後障害:数年、数十年経ってから白血病や癌（がん）などの病気を発症する人が多く現れました。これらの病気は現在も被爆者を苦しめ続けています。
- ・精神的苦痛と差別:生き残った人々（被爆者）は、家族や友人を失った深い悲しみやトラウマに加え、「原爆症」への恐怖や、健康被害を恐れた人々からの差別・偏見にも苦しみました。

### ②物的被害

- ・都市の壊滅:爆心地から約1.2km以内の建物は約90%が全壊または全焼しました。広島市中心部は一瞬にして廃墟と化しました。
- ・熱線による火災:投下直後の熱線により、気温は数百万度、地表温度は一時的に3000度～4000度にも達したとされ、あらゆるものが燃え上がりました。
- ・爆風による破壊:猛烈な爆風が建物を吹き飛ばし、多くの人を巻き込みました。現在残る「原爆ドーム」は、爆風と熱線に耐えながらも、ドーム部分の鉄骨だけが残った象徴的な建物です。
- ・インフラの崩壊:水道、電気、ガスなどのライフライン、病院や学校などの公共施設、交通機関も完全に機能を停止し、救援活動も困難を極めました。

### ③広島原爆ドームとは

広島原爆ドームは、1945年8月6日に広島市に投下された原子爆弾の惨禍を伝える、世界で唯一現存する被爆構造物です。元々は「広島県産業奨励館」として1915年にチェコ人の建築家ヤン・レツルにより設計・建設されました。現在は世界文化遺産に登録されています。1945年8月6日:原子爆弾が投下され、爆心地から北西におよそ160メートルの至近距離で被爆。建物は全焼し、内部にいた人々は即死したが、中心部の鉄骨構造と外壁の一部は奇跡的に残り残りました。1996年、ユネスコの世界文化遺産に登録されたました。これは「人類の負の行為」を記憶にとどめる「負の世界遺産」の一つとされています。

- ・正式名称: 平和記念碑（原爆ドーム）
- ・所在地: 広島県広島市中区中島町1-2（平和記念公園内）
- ・現在: 建物の内部は公開されておらず、外からの見学のみ可能です。

- ・保存：被爆当時の姿を維持するため、市民からの募金により保存工事が行われ、厳重に管理・保存されています。
- ・平和の象徴：核兵器の恐ろしさと平和の尊さを世界に訴える「歴史の生き証人」として多くの訪問者が訪れます。死没者慰霊碑などと共に平和記念公園を構成しており広島への平和への願いを伝える重要な役割を果たしています



### 「平和記念資料館①」

何もしていない子供や大人が無差別に、14万人の人が殺されました。



### 「袋町小学校①」

袋町小学校では広島原爆被害を受けた人が階段や黒板の裏に文字を書きました。例えば、探している人や重症な患者の名前が書いてありました。



### 「袋町小学校②」

いろいろな人々が作った千羽鶴が飾られていたり、たくさんのメッセージが書いてあったりしました。「これは私達の祈りです これは私達の 叫びです 世界に平和を築くために」「安心して下さい 過ちは繰り返しませんから」



### 「平和記念資料館②」

飛行機が50kgの原爆を落としたけど、なんとゴルフボール1個分の量しか爆発していません。その1個が広島を破壊しました。まだ世界には、その恐ろしい原爆が約12520個あります。



### 平和学習を終えて

一番心に残っていることは、原爆の恐ろしさです。事前学習で調べたよりも、被害が大きく多くの被害者が出たことにとっても驚きました。また、ゴルフボール1個分の原爆が広島に大きな被害を与えたことが衝撃でした。

被爆体験者のお話では、「原爆を作ったのは人間だから、原爆をなくすことができるはず」「今、私達がここに来て話をするのは勇気がある。みなさんも勇気をもって生きていてください。」という言葉が一番心に残りました。この言葉に僕は、勇気をもらいました。今回の体験は一生忘れることはないと思います。

さらに、「幸せとはなにか?」という事も考えました。僕が思う「幸せ」とは、みんなが仲良く暮らし、戦争や差別がない世界が実現することです。これからは、僕もみんなも幸せと感じられるように勇気を出して行動していきます。そして、この人生が当たり前じゃないことを大切に一日一日を大切に生きていきます。

これからもこの青い空が続くことを願っています。

## 広島平和学習で学んだこと

小鈴谷小学校 大蔵 綾乃

### 事前に調べたこと・もっと知りたいと思ったこと

私は、主に原爆が落ちた日にどんなことが起きたのか、何人が犠牲になったのかを調べました。「1945年8月6日午前8時15分にアメリカから原爆が落とされた」ということ、合計約20万人もの命が1発の原子爆弾によって失われたことを知りました。このことを知り、私はこの平和学習であの日、あの場所で突然なにがおきたのか、どんな亡くなり方をしたのかなど、たくさんの方からお話を聞いてたくさん学んで帰ってきたいと思いました。

### 平和記念資料館



資料館は残酷な物が多かったけどすごく興味深かったです。左の写真が、私が資料館の中で一番印象に残ったものです。当時の技術で治療がここまでし

できないことに驚きました。明らかに黒い糸が見えて、縫ってあるのが痛々しいほど見えて苦しかったです。そしてなにも悪くない20万人の命が実験のために失われ、苦しみや痛みを感じているということを学びました。とても悔しいし、悲しいです。

### 袋町小学校平和資料館



この写真は爆心地から一番近い小学校で書かれた壁一面の伝言の写真です。家族が見つからない方たちによって、その人の特徴や名前がたくさん書かれてい

て、見ていてびっくりしました。そして、想像しただけで苦しくなってきた、胸が痛かったです。ここに書いた人、名前を書かれた人が無事であることを心から願っています。

### 被爆体験講話 宇佐美節子さんのおはなし

「戦争は正しい。日本は神の国だから負けない」、少年は「軍隊に入れ」、少女は「看護師になれ」と教育されました。この話を聞いて、私は当時の日本の政治にすごく怒りが湧いてきました。そしてもう一つ、「核兵器は人間が作ったから、人間がやめない限りやめられない」ということがすごく心に残りました。宇佐美さんが感情を込めて話してくれたことは、きっと勇気があるし、とても辛かったと思います。でも話してくれたことに感謝して、私も次の時代に活かしていきたいです。

### 原爆について

昭和20年8月6日午前8時15分にB-29から広島の上空に落とされました。もともとはT字の相生橋に落とす予定が、少しずつれました。その他、放射線物質により、その年以降もあわせ、約20万人の命が失われました。広島は原爆の実験台だったといわれています。地上は、およそ3000℃～4000℃の熱さでした。21年後、市長さんが「目に消えるものは記憶からも消える」と言って残された、とおっしゃっていました。他にも「原爆の子の像」などたくさん物がありました。川には水を求めた人たちのたくさん死体が浮いていたことが信じられないです。

### 平和学習を終えて

私はこの広島平和学習を通して、平和の大切さを学びました。そして、平和への感謝をより学びました。今私達が美味しいご飯が食べられること、当たり前起きて当たり前学校に行けて、旅行に行けて幸せに暮らせる幸せを噛み締めて生きたいと思いました。この2日間で私はどんなに被爆者の方、そして親族の方がつらい思いをしたのかを実感し、胸が苦しくなりました。聞いている私達まで苦しめる1発の原子爆弾がどれだけ恐ろしいのか。行く前よりこの問題の深刻さを身近に感じました。なのでこれからは、わたしも宇佐美さんのようにあの日、あの場所で起きたことを次の時代の人たちに教えていきたいと思いました。この学習のあとたくさん生活にいかしたいと思います。2日間たくさん学ぶことができました。関わってくれた方々、本当にありがとうございました。一生の宝物です。

## 平和への道

小鈴谷小学校 宮原結真

### 平和学習に参加しようと思った理由

毎年お盆にお墓参りをされていて、祖母から「このお墓は戦争で亡くなったひいばあちゃんのお兄さんのお墓だよ。」と聞きました。戦争についてはあまり考えたことはなかったけれど、自分の身内にも戦争で亡くなった人がいることを初めて知りました。その話から戦争について考えるようになりました。図書館やインターネットで調べたり、家族と話をしたりするうちに、原爆にあった広島の様子や体験談を聞いてみたいと思いました。

### 被爆体験講話 宇佐美節子さんのお話

原爆投下時、宇佐美さんは3歳でした。原爆投下の衝撃で10cmほどの窓ガラスの破片が額に突き刺さったり、お兄さんを亡くしたりしたそうです。終戦後、原爆にあった人は差別されていたという話を初めて知りました。

「核兵器を生み出したのは人間だから、核兵器を人間がなくすこともできる。」という言葉から、核兵器をなくして、世界を変えたいという強い思いが伝わって来ました。

原爆によって無差別に人が殺され、多くの人がその後も苦しんでいるとわかり、二度と戦争は起こってほしくないと思いました。

### 原爆ドーム周辺の様子

原爆ドームにとっても近い、川を見に行きました。その川は、原爆が投下されたときに水を求めて多くの人が川に飛び込み、水を飲んで安心してしまい、心臓が止まって多くの人が亡くなってしまった川だそうです。当時はその川が亡くなってしまった人でいっぱいになり、あまりにも残酷だったそうです。

話を聞いているうちに、当時はまるで地獄のようだったんだなと思いました。

### 広島平和記念資料館の訴え①

事前の調べ学習のときに見た写真が、実際にありました。

自分と同じ年くらいの女の子の写真で、熱線により、服がぼろぼろになって、耳や腕に、包帯のようなものが巻いてありました。自分と同じ年頃の子も、この年でこんなにも悲惨な目に会い、命が絶たれなければいけないのかと思うと、胸が苦しくなりました。

次に、原爆後の写真を見ました。普通の街並みとは違い、壊れた建物や、ボロボロのものしかない、まさに廃墟のような街でした。

### 広島平和記念資料館の訴え②

他にも、人はいないのに影だけがある壁や、被爆者の方にお話を聞いたときにも出てきた、乗っていた3歳の子供とサドルが熱線によって消えていった三輪車など、当時の様子は



言葉にならないほどの恐怖で、その心の傷は80年たった今でも癒えないほど深いと自分の目で確かめることを通して深く考えさせられました。

### 平和学習を終えて

原爆ドーム周辺で、「核兵器廃絶の署名をお願いします。」という声が多く聞こえてきました。10箇所以上の場所で、若い人からお年寄り、被爆者の方など、たくさんの方が様々な人に声をかけていました。広島が経験した苦しみや悲しみを二度と繰り返さないために、次の世代に伝えていこうとしている多くの人がいるのだとわかりました。

実際に被爆者の方に原爆の様子を聞いたり、悲惨な写真をたくさん見たりすることで、その時の悲しみや苦しみを知ることができました。被爆者の方は、涙を流しながらも自分が経験したことを話してくれて、原爆の苦しみは消えたわけではなく、形を変えて二度と同じ過ちを繰り返さない世の中にしていきたいという切実な願いが変わったのだと伝わってきました。平和学習に参加したことによって、原爆の苦しみは今もずっと続いているとわかり、核兵器のない世の中になってほしいという強い思いに変わりました。これからも他の国と争うこともなく、争うきっかけもつくることなく、平和を保ち、二度とこのような出来事が起こらないことを願っています。

令和7年度

常滑市広島平和学習派遣事業報告書

発行日 令和8年3月

編集・発行 常滑市教育委員会